

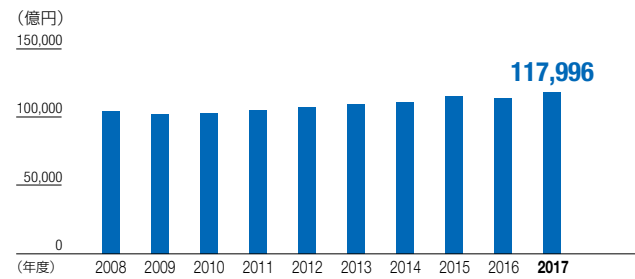
業績ハイライト

NTTグループの連結財務諸表は、2018年度第1四半期からIFRS(国際財務報告基準)を適用しています。

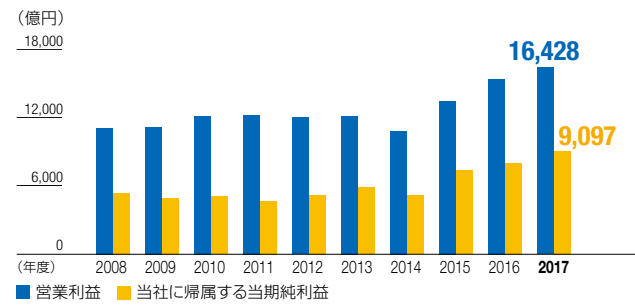
なお、本ページにて掲載している実績は全て米国会計基準によるものです。各年度の詳細については、P.86「要約財務データ」をご覧ください。

財務データ

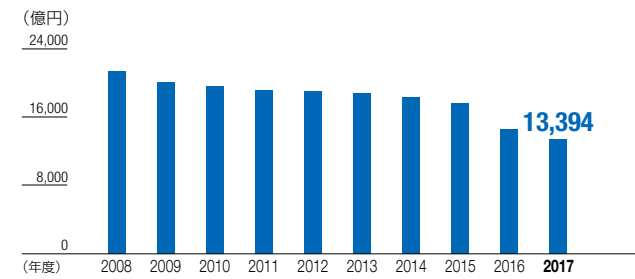
営業収益



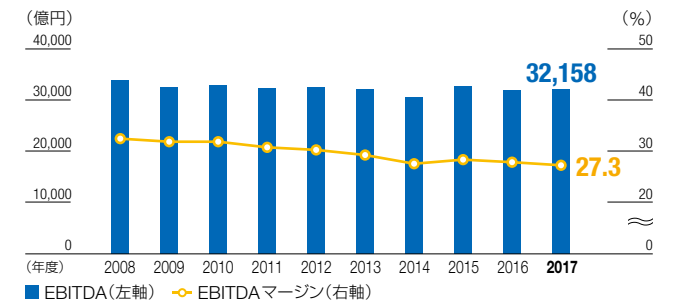
営業利益／当社に帰属する当期純利益



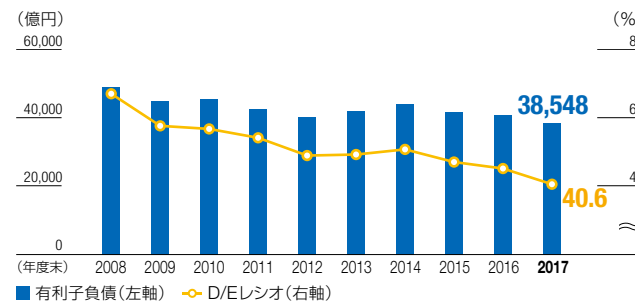
減価償却費



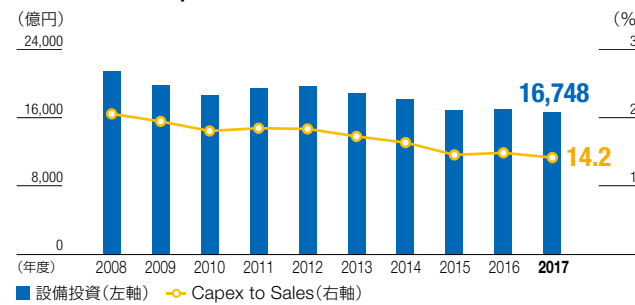
EBITDA^{*4}／EBITDAマージン



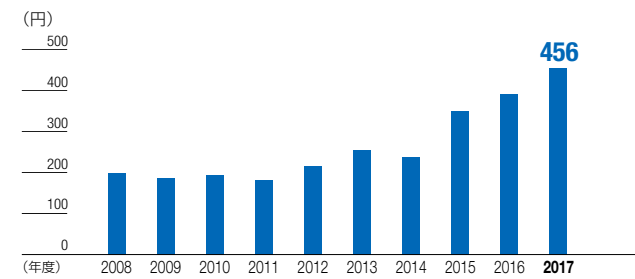
有利子負債／D/Eレシオ^{*1}



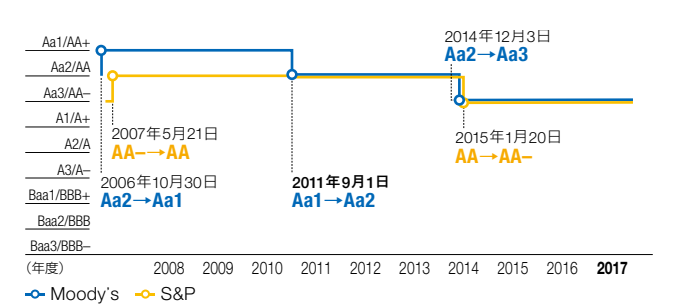
設備投資^{*2}／Capex to Sales^{*3}



1株当たり当社に帰属する当期純利益(EPS)^{*5}



格付け



*1 D/Eレシオ = 有利子負債 / 株主資本 × 100

*2 設備投資: 固定資産の取得に要した発生主義ベースでの把握金額

*3 Capex to Sales = 設備投資 / 営業収益 × 100

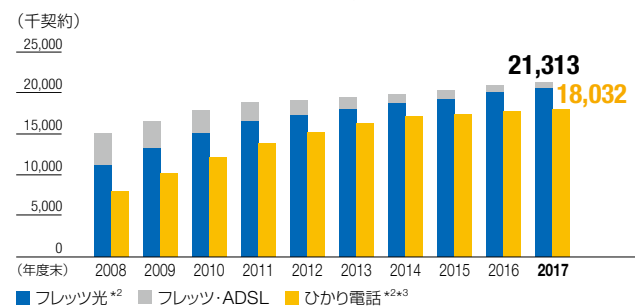
*4 2016年度より、EBITDAの計算式を変更しています。

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 固定資産売却損及び除却損 + 減損損失

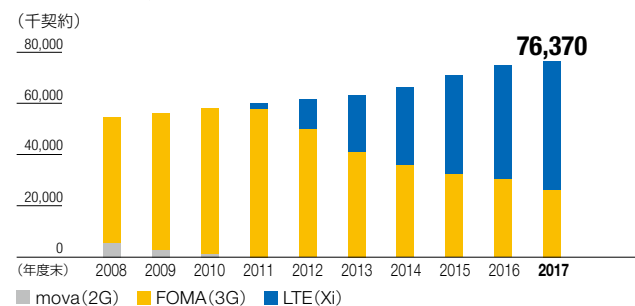
*5 2009年1月4日を効力発生日とした株式分割(普通株式1株を100株に分割)、及び2015年7月1日を効力発生日とした株式分割(普通株式1株を2株に分割)を考慮して記載しています。

オペレーションデータ

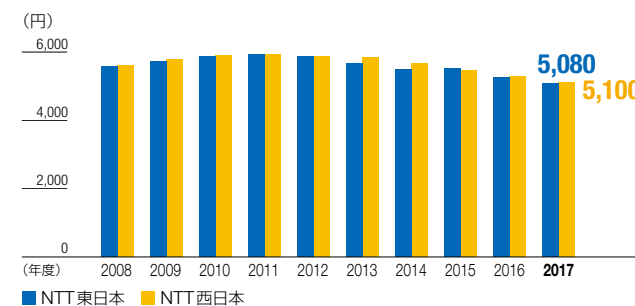
固定系ブロードバンドサービス契約数^{*1}



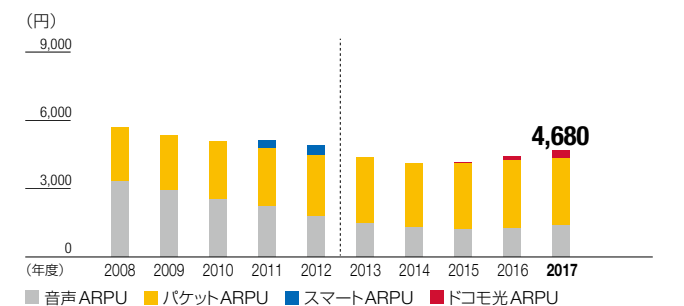
携帯電話契約数^{*1}



フレッツ光ARPU^{*2*4}



携帯電話総合ARPU^{*4*5}



*1 契約数は、各期末日時点。

*2 「フレッツ光」「ひかり電話」はNTT東日本及びNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービスを含めて記載しています。

*3 「ひかり電話」は、チャンネル数(単位:千ch)を記載しています。

*4 ARPUの算定方法などについては、P.89をご覧ください。

*5 2015年度よりARPUの算定方式を変更しています。それに伴い、2013年度及び2014年度のARPU実績値も遡及して算定しています。2008年度から2010年度のバケットARPUは、スマートARPU見合いの額を含んでいます。